

授業科目 運動機能解剖学

【担当教員名】 阿部 薫		対象学年	1	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎					
【概要・一般目標：G10】 四肢・体幹の機能解剖学として、筋の起始・停止、作用、および神経支配を学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 機能解剖学の基本的事項について説明できる。 2. 四肢の筋の起始・停止、作用、および神経支配について説明できる。 3. 体幹の筋の起始・停止、作用、および神経支配について説明できる。 4. 四肢・体幹の動きの分析について説明できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	機能解剖学の基本的な知識			1	講義
2	肩甲帯			2	講義
3	肩関節			2	講義
4	肘関節と橈尺関節			2	講義
5	手関節と手 1			2	講義
6	手関節と手 2			2	講義
7	上肢の動きの分析			4	講義
8	股関節と骨盤帯 1			2	講義
9	股関節と骨盤帯 2			2	講義
10	膝関節			2	講義
11	足関節と足 1			2	講義
12	足関節と足 2			2	講義
13	下肢の動きの分析			4	講義
14	体幹と脊柱			3	講義
15	体幹の動きの分析			4	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		身体運動の機能解剖改訂版	クレム・W. トンプソンほか	医道の日本社	2002・4,300円＋税・ISBN : 9784752930631
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、小テスト、最終試験		【履修上の留意点】 義肢装具および福祉機器・用具を理解する上で、基本となる重要な分野のため、よく復習し、完全にマスターすることが望まれる。			